「病院情報システムの利用者心得」　クイズ

氏　名：

次の場面における医療情報の取り扱いについて、適切なものには○を、不適切なものには×をつけてください。

Ｑ１．ミスプリントした処方箋は、医師の押印がなければ、そのまま可燃ゴミとして廃棄できる。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（　　）

Ｑ２．患者は、自らの診療情報を学術研究に用いることにいったん同意した後であっても、その同意の撤回を申し出ることができる。　　　　　　　　　　　（　　）

Ｑ３．看護師が医師から口答指示を受けた場合、その内容を医師事務作業補助者に伝えて

すみやかに代行入力させることが望ましい。　　　　　　　　　　　　（　　）

Ｑ４．たとえ緊急時であっても、他の職員がログインした端末をそのまま利用することは

「なりすまし」にあたり不適切である。　　　　　　　　　　　　　　（　　）

Ｑ５．端末の画面に「コンピュータウイルスに感染しました。すぐ対策ソフトをインスト

ールしてください。」と表示されたら、指示に従って直ちに行う。　 　（　　）

Ｑ６．ネットワーク機器からＬＡＮケーブルが抜けていることを発見した。自分では

差し込まずにシステム管理者に連絡する。　　　　　　　　　　　　　（　　）

Ｑ７．トラブル発生時には、周辺の他の端末でも類似した現象が起きている可能性が高いので、すぐに紙運用に切り替えてトラブルの原因究明に努める。　　　（　　）

Ｑ８．患者のリストバンド注射ラベルのバーコードを読み取って照合するシステムにお

　　　いて、照合結果が「○」であっても実施すべきでない場面がある。　　（　　）

Ｑ９．電子カルテ端末のUSBポートはスマートフォン等の充電目的に限って使用し、USB

メモリ等の補助記憶媒体を接続してはならない。　　　　　　　　　　（　　）

Ｑ10．病院情報システムの適切な運用は、患者とのパートナーシップを確立することにも繋がっている。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（　　）

© 2022 日本医療情報学会医療情報技師育成部会 All Rights Reserved

「病院情報システムの利用者心得」　クイズ解答・解説

Ａ１：×　処方箋には、個人情報が含まれています。医師の押印にかかわらず、裁断など

　　　　　で個人情報を判別できなくしなければなりません（KPhⅠ-1-4参照）。

Ａ２：○　設問の通り、患者には同意の撤回を申し出る権利があります（KPhⅠ-1-7参

照）。同意取得時には、同意を撤回できることも説明しなければなりません。

Ａ３：×　口答指示と代行入力は別の行為ですから、混在させるのはエラーの原因になり

望ましくありません（KPhⅠ-2-3、KPhⅡ-1-6参照）。

Ａ４：○　設問の通り、いかなる理由であっても「なりすまし」になります。そのような

操作を防ぐため、クリアスクリーンに努めてください（KPhⅡ-1-8参照）。

Ａ５：×　異常なメッセージが表示されたら、システム管理者に連絡してください。偽の

対策ソフトもあるため、安易な対応は避けましょう（KPhⅡ-1-14参照）。

Ａ６：○　ネットワーク装置に誤ってＬＡＮケーブルを差し込むと、ネットワーク障害の

原因になりますので絶対に行わないでください（KPhⅡ-2-2参照）。

Ａ７：×　他の端末ではトラブルが生じていない可能性もあるため、すぐに紙運用に切り

替えることは適切ではありません（KPhⅡ-3-3参照）。

Ａ８：○　システムによる照合では、防ぎにくいエラーもあります（例：同日内での多重投与など）。照合機能は、あくまで補助的な手段です（KPhⅡ-4-2参照）。

Ａ９：×　スマートフォンには通信機能があるため、充電目的で接続しても情報漏えいを招くことがあります（KPhⅡ-1-9参照）。

Ａ10：○　適切な情報管理は、患者が自らの秘密を病院に提供する際の前提です。その信頼関係は、医療を提供する上で不可欠なものです（到達目標Ⅰ参照）。

© 2022 日本医療情報学会医療情報技師育成部会 All Rights Reserved